

# 製本のススメ

Vol. 70

今年の秋は駆け足で過ぎていったという感じですね。晩秋と言うには寒すぎる気がします。薬局の入り口は風邪薬が主役になっていました。

さて今年も残り40日あまり、皆さんの所では『地デジ化』済みでしたか？

今回は**背幅と束の不具合**の話し

束見本を作ってデザインを決めたのに、**なぜか背幅が合わない**事がありますね。特に背文字が入っている場合には、表紙のクルミ位置をずらして付けられませんので見苦しい体裁になってしまいます。本来見本を実測して決めたはずですから、背幅と束が揃わない事はないはずですが、現実には下記の様な現因で不具合がでます。

- ① 束の寸法を測り間違えた。② 使う用紙や、枚数が変更になった。この2点は**単純な不注意ですので、今回は省略**します。
- ③ **本の束厚にバラツキ**がでている。
- ④ **表紙くるみの位置合わせは【片側合わせ】**になる。

**③の場合** 実際に製本に携わる人以外には、殆ど知られていないのですが実は・・・量産される本の束厚には、かなりのバラツキがあります。例えば折丁の結束の強さや積み上げた時に下部に積まれたか上部に積まれたかなど、加工作業の中で用紙の厚みが増えるためです。糸綴りした後1~2日間積んでおくと30ミリ程の本で約1ミリ程度のバラツキが発生しています。よく在庫として積み上げた包装が、緩くなっていると思いますが、**紙の重みでプレス**されているのです。

これらは、どの位変化するのか製本部門でもわかりません。上製本では1ミリ程度の調整は可能なのですが、**並製本(無線・あじろ)**では**デザインによっては調整不能**です。背幅に前面ベタのようなデザインである場合には、予め客先とどの程度までが許容範囲なのか、何気なく やんわりと打ち合わせておくことも必要ですね。

今回は**④**について、お話ししましょう。



## Teabreak

女性ならヒアルロン酸やコラーゲンという文字には、目が釘付けになりますね。コラーゲンは細胞同士をつなぐ重要な役割で、不足すると肌のハリが無くなりしわやたるみの原因に。ヒアルロン酸は保水力が強く、肌をみずみずしく保つ働きをします。コラーゲンが細胞同士の結合を保ち、ヒアルロン酸が保湿するわけです。つまりどちらが不足しても絶対ダメという事です。ちなみに、ビタミンCはコラーゲンを体内で作る上で欠かせません、普段から不足しないようにしましょう。

by (株) 井関製本